

宇陀市立病院から

■内科よりお知らせ

大腸がんは簡単な便潜血検査（検便検査）で発見できることがあります。検査を希望される患者さんは内科を受診し、医師に便潜血検査（検便検査）を依頼してください。



■糖尿病教室のご案内

糖尿病の治療を受けている方だけでなく、関心のある方のために、糖尿病について学ぶための糖尿病教室を開催しています。参加費は無料です。ふるってのご参加をお待ちしています。また、事前の予約も必要ありません。

【6月の予定】

- 4日（木）糖尿病の治療 ～運動療法～（第4回）
- 11日（木）糖尿病の合併症（第5回）
- 18日（木）低血糖、足のケア、体調が悪くなった時（シックデイ）の対応について～（第6回）

【時間】午後2時30分～【開催場所】北館2階栄養指導室

■市立病院職員募集（随時採用）

- 非常勤医師（消化器内科・呼吸器内科）
報酬：年俸制、1100万～1700万円（税込）
※指導医・専門医等優遇します（要相談）。
手当：各種手当は年俸に含む（退職金はありません）。
業務内容：外来診療・病棟管理・当直業務
経験：卒後5年以上 勤務日数：週4～5日
※その他詳細はお問い合わせください
- 理学療法士（正職員）3名・作業療法士（正職員）1名
対象者：昭和50年4月2日以降に生まれ、資格を有する人
採用試験：小論文・面接 試験日：後日連絡します
提出書類：履歴書、資格証明書の写し
- 言語聴覚士（パート）1名
対象者：昭和50年4月2日以降に生まれ、資格を有する人
採用試験：小論文・面接 試験日：後日連絡します
提出書類：履歴書、資格証明書の写し
- 医療事務（パート）1名 も募集中です。
- ★問い合わせ・申し込み：経営企画課
（土・日・祝を除く午前9時～午後5時）

ご存知ですか 地域包括ケアシステム

今年2月、文化会館で第1回宇陀市在宅医療推進講演会がありました。多くの参加者があり、大変な盛会でした。

ところで市民のみなさんも、地域包括ケアシステムという言葉を目にしたことがあるかもしれません。言葉は知っていても漠然としていて、よくわからないのが実情だと思います。福祉・医療関係者であっても、正確に述べるのが難しいくらいなのです。

地域包括ケアシステムとは「重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される」と書かれています。読んだだけでは何やら、ますます難解です。実は超高齢社会の到来を控えての、国家的な行財政からの発案なのです。平易に表現すれば、団塊世代の高齢者が医療・福祉資源を少なく使い、互いに助け合い、相応に満足して自宅等で長く生活できるような体制づくりが目指されています。

行政、地域社会、医療・福祉サービス関係者には、相互が密接に連携し、各自が責任に応じた役割を果たすことが求められています。一方で市民（本人や家族）には、今の時代に即した「選択と心構え」が

聞いたことはあっても、よくわからないのが「地域包括ケアシステム」です。諸機関との連携を構築し、市立病院としての貢献を図っていきます。

期待されています。宇陀市は在宅医療を実践する開業医、訪問看護ステーション、福祉施設に恵まれています。市立病院の役割としては医療面で、特に救急患者受け入れへの期待が大きいものと理解しています。まずは救急対応の充実を目指して、貢献したいと思います。

私は今春、隣の山添村の診療所から宇陀市立病院に移りました。内科に所属し、地域連携室長を兼ねています。久しぶりの病院勤務のため試行錯誤の段階ですが、少しでも市民のみなさんのお役に立てるよう諸機関と連携し、責任を明確化し、業務を推進していきます。



内科・地域連携室 松島俊裕
日本プライマリケア連合学会
プライマリケア認定医
奈良県立医科大学総合医療学講座所属

松島医師の診察日は
毎週月・火曜日です

